

2021年10月27日

報道関係者各位

高田製薬株式会社

抗悪性腫瘍剤（チロシンキナーゼインヒビター）
イマチニブ錠 100mg 「ヤクルト」
イマチニブ錠 200mg 「ヤクルト」
効能・効果 および 用法・用量の追加承認を取得

高田製薬株式会社（埼玉県さいたま市南区、代表取締役社長 高田浩樹）は、2021年10月27日にイマチニブ錠 100mg「ヤクルト」、イマチニブ錠 200mg「ヤクルト」（販売元：株式会社ヤクルト本社）について、下記「効能・効果」および「用法・用量」の追加承認を取得しましたことをお知らせいたします。

当社は、患者さんや医療関係者の皆さんの声に耳を傾け、ニーズに合った医薬品を提供することにより、医療に貢献してまいります。

記

製品名	イマチニブ錠 100mg「ヤクルト」、イマチニブ錠 200mg「ヤクルト」
効能・効果 (下線部分を追加)	○慢性骨髄性白血病 <u>○KIT (CD117) 陽性消化管間質腫瘍</u> ○フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病
用法・用量 (下線部分を追加)	〈慢性骨髄性白血病〉 慢性期：通常、成人にはイマチニブとして1日1回400mgを食後に経口投与する。なお、血液所見、年齢・症状により適宜増減するが、1日1回600mgまで増量できる。 移行期又は急性期：通常、成人にはイマチニブとして1日1回600mgを食後に経口投与する。なお、血液所見、年齢・症状により適宜増減するが、1日800mg（400mgを1日2回）まで増量できる。 <u>〈KIT (CD117) 陽性消化管間質腫瘍〉</u> <u>通常、成人にはイマチニブとして1日1回400mgを食後に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜減量する。</u> 〈フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病〉 通常、成人にはイマチニブとして1日1回600mgを食後に経口投与する。なお、血液所見、年齢・症状により適宜減量する。

以上

【お問い合わせ先】

高田製薬株式会社 人事総務部 総務課
TEL:048-816-4193 / FAX:048-816-4192
E-mail: soumu@takata-seiyaku.co.jp